

今月のテーマは…

## 「ものづくりのまち西尾」 に向けた戦略



人口の減少や財源の確保などの課題を解決するためには、ものづくりのまちとしての強みを生かしていくことが重要だと考えています。市内の産業を活性化することで雇用を確保し、定住促進につなげていきます。

「目指すべき「ものづくりのまち西尾」とは、どのようなイメージですか。」

**市長** 西尾市は県内有数のものづくりのまちです。製造業など多くのものづくり企業が集積し、3万人以上の方が関連企業で働いています。「ものづくりのまち西尾」の知名度を上げ、若い世代にとって魅力ある雇用の場を創り出すことで、「西尾で働き、西尾に住んでよかった」と実感してもらえるようなまちを目指しています。

「具体的にどのような取り組みをしていますか。」

**市長** 一つは**企業誘致**です。市内に立地する企業を増やすことは、雇用の場や市の財源を確保するのに非常に有効です。主要な取引先から近いなど、西尾の地理的な特性をアピールするとともに、「ワンストップサービス」で立地の手続きを支援しています。進出を考慮する企業の投資意欲に迅速に対応し、さまざまな企業を誘致してきました。もう一つは、**市内企業の経営力の強化**です。人材不足や付加価値の創出など、中小企業や小規模企業が抱える問題は多様化しています。地域産業を発展させ、地域経済を豊かにするため、企業に寄り添い、支援する「伴走型支援」を強化しています。



「これまでの企業誘致の実績は。」

**市長** 23年の合併以降、29年までの7年間で市内に工場などを新増設した企業は**69社**。そのうち市外からの進出企業は20社です。こうした誘致による**企業の投資額は約890億円**で、**県内トップクラスの実績**です。

「市内企業の経営力の強化に対して、どう支援していますか。」

**市長** 25年から毎年、東京都で行われる大規模展示会に市内の企業と共同出展しています。展示会は「ものづくりのまち西尾」の知名度の向上や、企業の新たな販路拡大の重要な機会となっています。また、昨年度は卓越した技術を持つ市内の62社を「頑張るものづくり企業」として認定し、その**概要を掲載した冊子「頑張るものづくり企業in西尾」**を発行しました。企業の強みなどを紹介し、製造業のイメージアップや雇用の確保を後押ししています。さらに「広報にしお」の毎月1日号で、認定企業をリレーで紹介し、地域産業の活性化を目指しています。また、11月には、「ものづくりのまち西尾」の魅力を発信する「産業立地セミナーin西尾」を開催します。会場は10月に名鉄西尾駅前にオープンする西尾コンベンションホールです。講演会や情報交換会を企画し、市内企業の競争力や経営力の強化につなげます。

「中小企業などへの支援はありますか。」

**市長** **工場などの生産性を向上させるため、最新設備を導入する企業を支援する制度**を新設しました。企業が作成した「先端設備等導入計画」を市が認定すると、固定資産税の減免などの支援を受けられます。今後も商工会議所や商工会など、地域経済界と緊密に連携し、市内の中小企業や小規模企業を支援していきます。

### 問合せ

▼先端設備等導入計画：商工観光課  
課商工担当（☎65・2168）

▼その他：企業誘致課  
企業誘致担当（☎65・2158）

## 市指定・無形民俗文化財 貝吹のかぎ万燈

約900年の歴史を持つ、夏の夜の風物詩。僧兵の戦いの霊を弔うため、万灯をたいたのが始まりと伝えられています。貝吹町にある万灯山の西側斜面に108基の「スズミ」が並べられ、ほら貝の合図で点火されると、山頂に「かぎ」が浮かび上がり、幻想的な雰囲気が醸し出されます。

**時** 8月14日(火) 午後8時30分点火

**場** 万灯山

**他** 開催の場合、午後6時ごろに山頂に火(親万灯)がとりますが、中止の場合はとりません。



## 夜空と川面を彩る光の祭典

### 第70回 西尾・米津の川まつり

戦没者や水難者の霊を慰めるために始まったお盆の行事。矢作川に架かる米津橋の下流で読経が流れる中、川面には約1,500個の万灯が揺れ、夜空には約3,000発の花火が打ち上がります。幻想的な光の祭典に、ぜひお越しください。

**時** 8月15日(水) 午後4時30分～8時30分

※花火の打ち上げは午後7時30分～8時30分

荒天や河川増水などの場合、9月2日(日)に延期

**場** 矢作川米津橋下流

※名鉄米津駅から徒歩約5分。名鉄桜町前駅から徒歩約10分

**他** 万灯は米津町内の商店などで、1基1,000円で販売しています。当日は1基1,200円

